

自分で簡易マスクを作ろう！



新型コロナウイルス感染症が全世界的に拡大し、いま各国、まん延防止の対策に追われています。学校休校のなか、インスタント麺やマスク、トイレトペーパー、消毒用アルコール、除菌グッズなどの商品が買い占められ、一時スーパーやコンビニエンスストア、ドラッグストア等から上記商品が消えました。なかでも、マスクは未だに品不足であり、入荷がいつか分からず、入荷されても直ぐに売り切れてしまう状況が続いています。

政府が、ようやくマスクを家庭や学校に配布することを表明しました。ただ1世帯に2枚とか、生徒1人に1枚という報道がなされ、それでは生活に支障をきたし、まだまだ十分なマスクが供給する体制ができていません。

そのようななか筆者は自分で作成したマスクを使っています。無論、市販されているマスクも持っていますが、残りのマスク数が少なくなり、手作りの簡易マスクも使用しています。3月から手作り簡易マスクを使用しています。

今回は、生徒・保護者の皆さんに、この手作りの簡易マスクの作り方を紹介しましょう。簡単で誰でもでき、だいたい1～2分でできます。

- ① 最初に、ハンカチ又はミニタオル、髪留めゴム又ゴム紐を用意します。
まず、ハンカチを半分に折ります。自分の顔の大きさに合わせ、半分に折ったり、少しずらしたり調整してください。



- ② 次に折ったハンカチの両端を真ん中側に折ります。この時も、顔の大きさに調整してください。大きい人は半分ではなく2/3程度中に折ります。



- ③ 端から折りのある部分に長さを調整して作った輪になった髪留めゴムを入れます。これで出来上がりですが、ハンカチが落ちないようにクリップ等で止めれば、もう十分既製品のマスクに負けない手作り簡易マスクが出来上がります。

このハンカチマスクなら200円程度でできます。ハンカチが5枚程度あれば、毎日洗濯して使うことができます。また、その日の気分によって好きな絵柄のマスクを使うこともできます。家に既製品のマスクの在庫がなくなったり、少なくなったりした方は、試しに作ってみてください。

マスクで感染に対するリスクを完全に減らすことは難しいと言われます。しかし、マスクをすることによってリスクを減らせる可能性は大きく、しないよりよいと言われます。また、咳や嚏による飛沫を防ぎ、飛沫感染のリスクを減らす効果はあると言われています。感染予防のため、マスクの着用を励行します。



注意喚起

三密—密閉空間、密集場所、密接場面に注意!また、集団時も、なるべく社会的距離1.8メートルを取りましょう!! 手洗い、マスク着用の励行 バランスの良い食事、十分な睡眠を取りましょう!!!

入学式の祝辞

横浜清陵高等学校に入学した皆さん、誠におめでとうございます。本校を代表して校長の私より祝意を述べさせていただきます。また、今日の入学式にご参加することができなくなった保護者の皆さんに対しても祝意を述べさせていただきます。

今回の入学式は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止の関係で、新入生だけの式となりましたが、皆さんや、本来、ご参加いただく保護者、関係者、来賓の方々のお気持ちを察すると、校長としては遺憾でなりません。

皆さんが受検した令和2年度の公立高校入試で、本校は1.5倍という高い競争率になりました。今回の入試では競争率の高い高校ベスト10内に入り、130人以上の受検生が涙を呑む結果となりました。この狭き門をくぐり入学してくれた皆さんに、改めてお祝いと感謝を述べさせていただきます。

さて、いま新型コロナウイルスの感染は、中国や日本、韓国からアメリカ、イタリア、フランスという欧米諸国にも広がり、さらに南半球の国々も広がっていて、パンデミック(世界的な流行)という局面に至っています。いままでの人類はいくつかのパンデミックを経験しています。中世のコレラやペストなどがパンデミックと言われています。しかしそれらは、欧州という地域で発生し、広がるのもタイムラグがありました。今回の新型コロナウイルス感染症は、ほぼ同時に全世界に広がっています。

経済的にも全世界的な規模で経済危機になっています。2001年のバブル崩壊、2008年のリーマンショックを上回り、第二次世界大戦以前の世界恐慌と同様な経済状況に陥ってしまうのではないかとされています。1933年の世界恐慌時、アメリカの失業率は25%、失業者数は1200万人に達し、労働者の4人に1人は失業していたわけです。これを今の日本に当てはめると、1600万人にも及ぶ失業者がでることになります。

この1930年代のアメリカで大恐慌を乗り越えた大統領が第32代フランクリン・ルーズベルト大統領です。世界で最初の国民を救済する機関である連邦緊急救済局(FERA)を設立し、300万家族、1250万人の人々に最低限の生活費を給付しました。さらに、ニューディール政策によって400万人の雇用計画を立て公共事業を行いました。この公共事業のためにTVAを設立し、さらに復興のための法律制定など、経済危機打開のため数々の政策を打ちました。

フランクリン・ルーズベルトは、ハーバード大学を卒業し、ニューヨーク州上院議員を務め、1920年、民主党の副大統領候補に選出されますが落選してしまいます。翌1921年、39歳で小児麻痺(現在では急性灰白髄炎と言われている)になり、以後、車椅子の生活を余儀なくされました。有名なヤルタ会談の写真では椅子に座っています。しかしながら不屈の精神で政界に復帰し、1928年ニューヨーク州知事、1932年大統領に選出され、1933年、第32代大統領に就任しました。彼はアメリカの大統領のなかで、唯一4回当選(第二次世界大戦後は憲法の規定で再選までと規定)した大統領です。

彼には多くの名言がありますが、「若者のために未来を創れるとは限らない。だが、未来のために若者を創ることはできる」という言葉を、皆さんに贈ります。

私たち教職員は、教育活動をとおして皆さんの成長を促すことはできます。しかしながら皆さんが生きていく未来を創ることはできません。皆さんが未来を創る主人公になるのです。そのために、皆さんの成長のために支援を行っていく所存です。

以上をもって横浜清陵高等学校を代表し、校長からの祝辞とさせていただきます。